



	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		訪問支援の際には、訪問先施設で日常的に使用している教材や教具を活用し、児童が普段の環境の中で安心して取り組めるよう配慮しております。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		職員配置は基準を満たしていますが、事業所での支援業務との兼務により、保護者様や訪問先との連携が十分に図れない場面もあります。 今後は、業務体制の見直しを含め、より円滑な連携と支援の充実に努めてまいります。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	2		訪問先や保護者様のご意向、児童の思いを踏まえ、個別目標や支援内容を適宜調整しながら行っています。 必要に応じて関係機関と情報共有し、連携を強化してまいります。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		今年度より評価表の実施を開始しましたが、全ての回収には至っておりません。 今後は、返信用封筒の同封などにより、保護者様が回答しやすい環境づくりに努めてまいります。	
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		協力体制に課題はありますが、業務改善と勤務体制の整備が進んでおり、今後も体制強化に努めてまいります。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		県内の研修会は日程が合う際には参加し、報告書提出や復命研修で内容を共有しています。 療育業務により全員参加は難しい状況ですが、今後も工夫しながら参加機会の確保に努めてまいります。	
適切な支援の提供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		専用のアセスメントツールを活用し、保護者様や児童の意向を踏まえて的確にアセスメントをおこなっております。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		事業所内会議で協議をおこない、会議録を作成して職員間で情報共有を徹底してまいります。	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		計画書に基づき支援を実施し、更新時には訪問先の意向を踏まえて内容を適切に見直ししてまいります。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		保育所等訪問支援計画は作成後に職員間で共有し、訪問先の意向を踏まえて計画に沿った支援を実施しています。 訪問後も記録を共有し、必要に応じて計画を見直しています。	
	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		通所支援とは異なり、訪問支援の特性に応じたアセスメントツールを用いて支援を実施しております。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		ガイドラインを踏まえ、児童の特性や訪問先に応じた具体的な支援内容を計画に反映しております。	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		児童発達支援管理責任者が作成した計画書をもとに、職員間で内容を共有し、計画に沿った支援を実施しております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		事業所内で支援内容を協議し、方針を共有したうえで訪問員が支援をおこなっております。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		児童発達支援管理責任者や職員と連携し、児童の情報共有や訪問先での課題共有をおこない、支援方法の工夫に努めております。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先施設の活動を妨げないよう、十分に配慮し、円滑な連携のもとで訪問支援を行っております。	
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		訪問中の児童の様子や環境、施設職員からの情報を丁寧に記録するよう努めております。	
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		訪問先や保護者様から得た情報を基に、児童の様子を把握し、モニタリングや支援計画書の見直しをおこなっております。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加し、支援内容の共有をおこなっております。	
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		保健・医療・障害福祉・教育など様々な関係機関と連携を図り、支援をおこなっております。	
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		必要に応じて電話連絡や訪問をおこない、情報共有・相互理解を図っております。	
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		現状、専門家からの助言を受ける機会や外部研修への参加が十分に行っておりません。	今後は専門機関との連携を強化し、助言を受けられる機会を設けるとともに、職員が外部研修に参加できるよう体制を整えてまいります。
	24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加が現状できておりません。	今後は地域の関係機関との連携を強化し、会議や協議会への参加を検討・調整してまいります。
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		ご家庭・訪問先施設・事業所での様子などを共有し、共通理解を図っております。	
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		家族支援プログラムや保護者様向け研修の実施・情報提供が十分におこなえておりません。	今後は家族の理解と対応力向上を目的に、ペアレント・トレーニング等の研修情報を収集し、参加や情報提供の機会を検討してまいります。
関係機関や保護者との連携	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時には契約書や重要事項説明書を参照しながらご説明をおこなっており、事業所玄関口にも掲示しております。	
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		訪問支援への理解に差があるため、説明をおこないながら訪問先の判断を尊重して対応しております。	
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		保護者様のご意見をもとに計画の作成を行い、利用者本人の成長につながるよう努めております。	
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		計画書はご確認いただいたうえで、同意をいただいております。	
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		保護者様の相談に丁寧に対応し、必要に応じて相談員への報告や担当者会を実施しています。	
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		父母の会、保護者会の開催は現在実施できておらず、兄弟同士での交流会の機会も設けられておりません。	今後は保護者様やご兄弟などご家族が参加できる行事や父母の会の開催について検討してまいります。
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		関係機関と連携しながら支援をおこない、課題の解決に向けて継続的に取り組んでおります。	
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2		事業所の活動は通信やSNS等で発信できていますが、訪問支援に関する情報発信は十分ではありません。	今後は訪問支援の内容や取り組みも積極的に発信し、理解促進と連携の強化を図ってまいります。
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		鍵付き書庫の使用や電子端末のパスワード強化により、個人情報の保護に努めております。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		特性のある児童や保護者様に対しては、相手に合わせた伝達方法を用いてコミュニケーションを図っております。	
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		適宜、お話を聞いて相談を受け、助言や対応をおこなっております。	
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		タイミングが難しい場合もありますが、報告書や対話を通して担任の先生と相互理解を図っております。	
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		活動の様子については報告書や対面での会話を通じて共有をおこなっております。	
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		鍵付き書庫の使用や電子端末のパスワード強化により、個人情報の保護に努めております。	
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		訪問先との対話を通して関係を築き、情報共有や助言、環境面へのアドバイスを行っております。	
非常時等の対応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		各種マニュアルを整備・周知し、定期的な訓練を通して職員が適切に対応できる体制を整えております。	
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全計画に沿って研修や訓練を実施し、安全に配慮した支援をおこなっております。	
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	2		これまで訪問支援でヒヤリハットの事例は経験しておらず、現在のところ記録には至っておりません。	今後は訪問支援時に危険を感じた場合にはヒヤリハットの記録を徹底し、再発防止に努めてまいります。
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待防止に関する研修を実施し、職員の意識向上と適切な対応ができる体制を整えております。	
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		児童発達支援計画書には記載しておりますが、保育所等訪問支援計画では身体拘束の必要がないため、現在は記載しておりません。 今後、記載が必要かどうか検討してまいります。	あらゆる事態を想定し、柔軟かつ具体的な計画書の作成に努めてまいります。

